



平成30年度 仙北市立白岩小学校学校だより ～学校・家庭・地域をつなぐかけ橋として～

三つ柏

— MI-TSU KASHIWA NO.23 —

平成30年10月22日発行

おいしい“おなべ”できました！

— なべっこ, 全校縦割りグループで実施 —



10月17日(水), 学校の中庭で「なべっこ」を行いました。七つの縦割り班でそれぞれ役割分担を決めて鍋を調理し, 家から持参したおにぎりと一緒に食べました。先生方もそれぞれの班に入ってくださいましたが, 予想以上においしくびっくりしました。焼き芋と焼きマシュマロもおいしかったです。

火やお湯を使う作業でしたが, 5・6年生がしっかりと下学年の子どもたちに声をかけながら作業してくれたので, けがややけどもなく安全に楽しく活動できていました。終わりの感想発表でも「協力してできた」「班で遊べてよかった」など5・6年生のリーダーシップに感謝する声の下級生からありました。5・6年生のみなさん, ありがとう!

わたしたち「わたりジョーズ」になりました

通学路安全推進事業
交通安全教室

10月18日(木), 体育館で1・2年生が交通安全教室を行いました。県の通学路安全推進事業の一環として行われたもので, 県教育庁保健体育課や仙北市教育委員会, 仙北警察署の方々も参加してくださいました。教室では子どもたち全員, 歩行環境シミュレータ「わたりジョーズ君」を使い, 雪や雨が降っているときや夕方や夜など視界が悪いときの道路を渡る練習をしました。

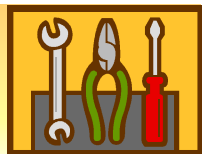
子どもたちは楽しみながらも真剣に参加し, 道路を渡る前だけでなく, 渡っている最中でも左右を確認しなければいけないなど, たくさんのことを学ぶことができました。これからはますます暗くなるのが早くなります。もうすぐ雪も降り出します。登下校のときだけではなく普段から, 全員「わたりジョーズ」になって道路を歩行してほしいものです。

保護者の皆様には, お子さんが外に出かけるときの「気を付けて」の声かけを, これまで同様, お願いいたします。



校舎をより安全に！

白岩小学校 劇的ビフォー→アフター



ちょっと前の話になりますが、夏休み期間中に校舎が二カ所改築されたのをお気付きでしょうか。職員室から教室に向かう廊下の左側、吹き抜けになっている場所に出入りする引き戸と、体育館の入り口です。



どちらも木造の戸が取り付けられていましたが、長年の風雪により腐食が進んでいました。特に、吹き抜けの引き戸は外側の腐食がひどく、強い力を加えると戸が倒れてしまう危険がありました。市の教育委員会にお願ひし、夏休み期間中を利用して修理してもらいました。写真（上）のとおり、これまでの引き戸から窓に変わりました。これまでのように吹き抜けに出入りは出来ません。安全を第一に考えての変更であることをご理解願ひます。体育館の入り口も、腐食により鍵がかかりにくくなるなどの不具合があり、ガラス戸に改修しました。

校舎ができてから22年。木がふんだんに使われた校舎をこれからも大切に使用していきたいものだと思います。一方、校舎内外で危険だと思われるところがありましたら、是非学校にご連絡ください。お願ひします。

学校生活ア・ラ・カルト

今年も梨をいただきました……

先週金曜日に子どもたちが家庭に持ち帰った梨、召し上がりましたか。白岩出身で栃木県宇都宮市在住の菅さんご夫婦からいただいたものです。S.さんご夫婦からは、本も送っていただいています。

S.さんご夫婦は、本や果物を20年以上前から送っていただいております。ふるさとを離れても、ふるさとやふるさとの子どもたち、ふるさとの学校を思い、長年活動して下さっていること、本当に頭が下がります。S.さんご夫婦の期待に応えられるよう、子どもたちとがんばっていききたいと思います。



団体優勝入賞おめでとう

4年のI.君が、先日行われた大曲仙北少年剣道錬成大会の団体戦に有隣館角館道場Aチームの一員として出場し優勝、また、個人戦「3・4年生の部」に出場し準優勝を収めたことを校長室に報告に来てくれました。団体戦優勝はもちろん、31名が出場した個人戦での準優勝も素晴らしいことだと思いますが、本人は大変悔しがっていました。その悔しさをバネに、次の大会、優勝目指してがんばってください。



寒いときこそ……

近頃、急に寒くなってきましたね。登校時には10℃以下になっていることも多くなってきました。寒くなると背中を丸め、ポケットに手を入れて歩きがちになりますが、これは視界がせまくなるし、いざというとき、手で自分を守ることが出来ません。

寒いときこそ、**背筋を伸ばしポケットから手を出し堂々と自分を大きく見せて歩きましょう。**

ポケットに手を入れて歩く大人もよく見かけます（私も意識しないといついついやってしまうときがあります）。子どもは大人の姿を見て育つものです。周りの大人も注意して歩きたいものですね。

